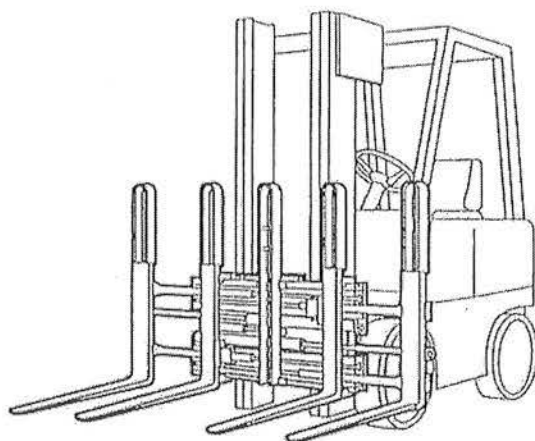
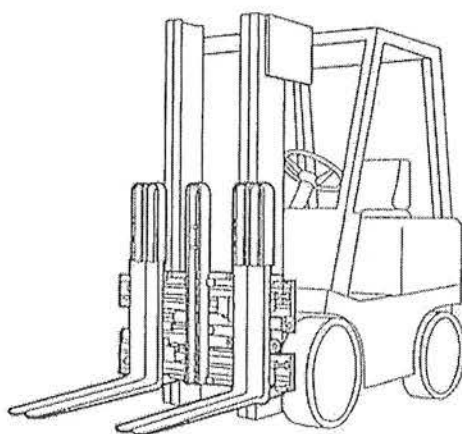




シングル/ダブル・パレット・ハンドラー Gシリーズ 保守点検



カスケード (ジャパン) リミテッド
cascade (Japan) limited

本社 〒661-0978 兵庫県尼崎市久々知西町2丁目2-23

TEL 06 6420-9771 (代)

FAX 06 6420-9777



日常点検項目・・シングル/ダブル・パレット・ハンドラー

シングル/ダブル・パレット・ハンドラーを安全に使用し、かつ最高の性能を発揮するために、始業前に次の項目の点検を行って下さい。もし少しでも異常があれば整備・修理が必要です。

※目視点検

- アームの形状に異常はないか、変形や突起は発生していないか
- ホース・継手・シリンダー・バルブ等からの油洩れはないか
- ホースに外表面の傷や摩耗・変形はないか
- シングル/ダブル・パレット・ハンドラーはフォークリフトのキャリッジに確実に装着されているか
- 各部のネジ類はゆるんでいないか
- 貼付けの注意・警告ラベルは見やすい状態で残っているか

※作動点検

- 無負荷でのアームの作動に円滑さや速度の異常はないか
- 無負荷でのアーム切替え作動に異常はないか
- ソレノイドバルブ使用の場合、スイッチやソレノイドバルブの作動に異常はないか



定期点検項目・・シングル/ダブル・パレット・ハンドラー

シングル/ダブル・パレット・ハンドラーの稼動時間毎の定期点検項目は次の通りです。内容の詳細については各項目を、部品番号については該当機種のパーツマニュアルを参照願います

※100時間点検―稼動100時間毎、あるいは何らかの点検・修理の機会には次の点検を実施し必要な場合は修理をして下さい

- 各部のネジ類にゆるみや、なくなっているものはないか
- ホースに外表面の傷や摩耗・変形はないか
- 各部の油もれはないか
- フォークアームの形状に異常はないか、特に下部摩耗状況の確認
- 貼付けの注意・警告ラベルは見やすい状態で残っているか
- 外フォークアーム・内フォークアームの作動に異常はないか
- 内フォークアームのスプリングシリンダーの強度は適切か
- スライド部ベアリングセグメントの摩耗確認
- スライド部ベアリングセグメントへのグリス供給

※500時間点検―稼動500時間毎には、前記100時間点検に加えて次の保守点検及び必要な場合は修理を実施して下さい

- 取付フック調整及びボルトの増締め
- フォークアーム及びアームバーの亀裂有無
- ボルトオンアーム ボルトの増締め

※1000時間点検―稼動1000時間毎には、前記100、500時間点検に加えて次の保守点検及び必要な場合は修理を実施して下さい

- スライド部ベアリングセグメントの摩耗点検、異常があれば交換
- バルブ分解、シールの損傷、その他異常があれば交換
- シリンダー固定キャップスクリューの緩みはないか確認

※2000時間点検―稼動2000時間毎には、前記100、500、1000時間点検に加えて予め次の部品を交換されることを推奨します

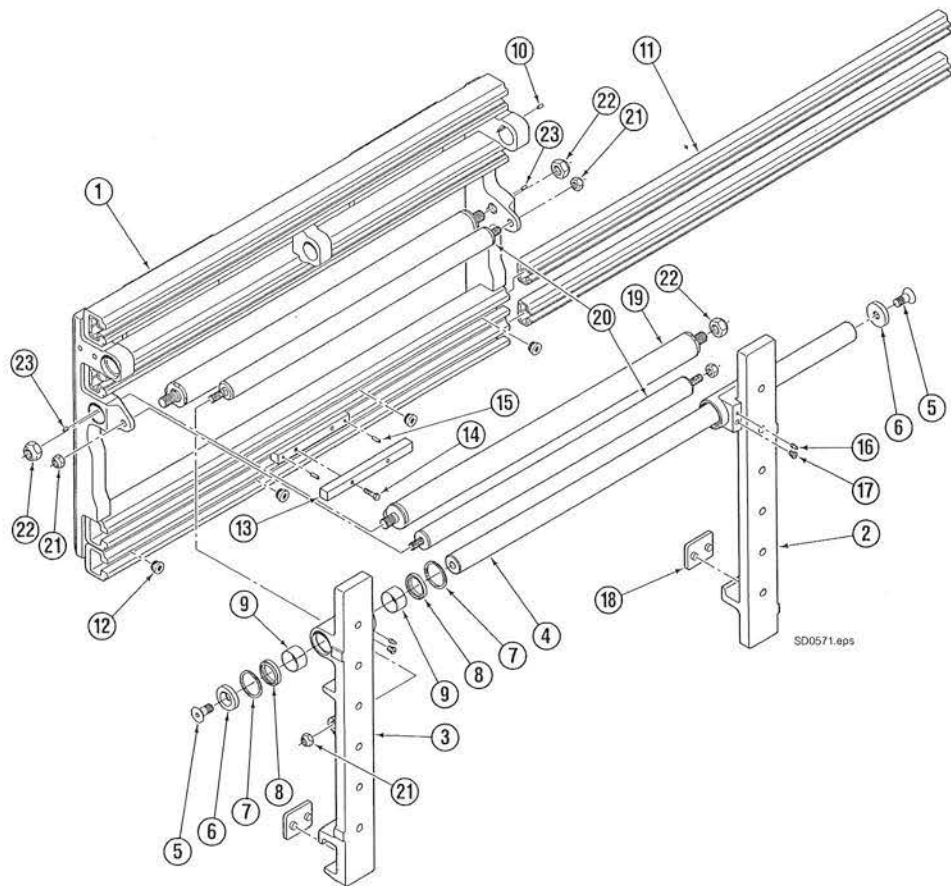
- ・シリンダーシール
- ・ホース
- ・スライド部ベアリングセグメント交換
- ・ガススプリング交換(インナーコントロール用)
- ・バルブ内各シールの交換

注記: 稼動時間は年1000時間とし稼動時間が満たなくとも毎月、毎年の点検を実施することをお勧め致します。



service bulletin

定期点検--ベースユニットグループ



警告：油圧ホースを外す前に、システム内の油圧を抜きます。リフトトラックを止め、操作レバーを両方向に数回動かして下さい。

※100時間点検

稼動100時間毎には、日常点検項目に加え次の保守点検を行って下さい

1. ブッシュ、ベアリング及びパッド 9.11.18. の摩耗確認、及びグリス供給
2. 各キャップスクリーの緩み及び脱落はないか

※1000時間点検

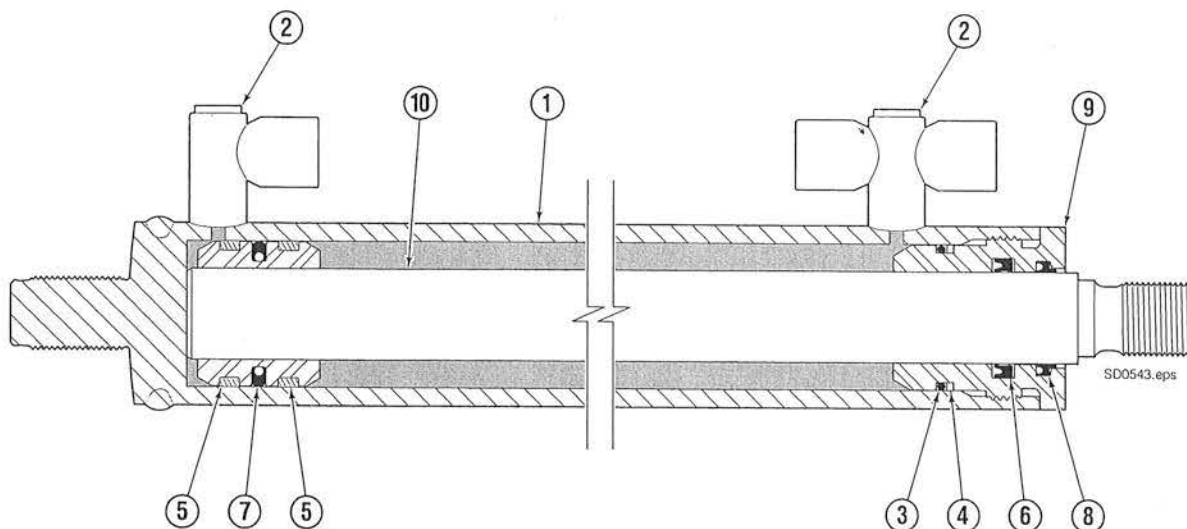
稼動1000時間毎には、前記100時間点検に加え各ブッシュ、ベアリング及びパッドの摩耗または変形があれば交換して下さい

※2000時間点検

稼動2000時間毎には、前記100、1000時間点検に加え各ブッシュ、ベアリング及びパッドの交換を推奨いたします

重要：整備作業の終わりに当り、いつでも各機能別テストを数回繰返し実施して下さい。
最初に作動テストは無負荷で行い、各機能が正常であるか確認の上実際の業務に復帰して下さい。

定期点検—シリンダー—



警告：油圧ホースを外す前に、システム内の油圧を抜きます。リフトトラックを止め、操作レバーを両方向に数回動かして下さい。

※日常点検

シリンダー各部より油洩れがないか確認して下さい。

特に⑧ロッドワイパーシール部、⑨リテーナー取付合せ部の油洩れの兆候がありましたらすぐに整備して下さい。

※500時間点検

稼動500時間毎には、前記日常点検に加え各シールの点検を行って下さい。

1. シリンダーを外してから分解して下さい。
2. ⑨リテーナー外すと分解出来ます
専用工具（ピンスパナ）を使用し、決してポンチ、タガネ等の用具を用いないで下さい。
これらの工具は修理不可能な傷をシリンダーに与えてしまうことがあります。

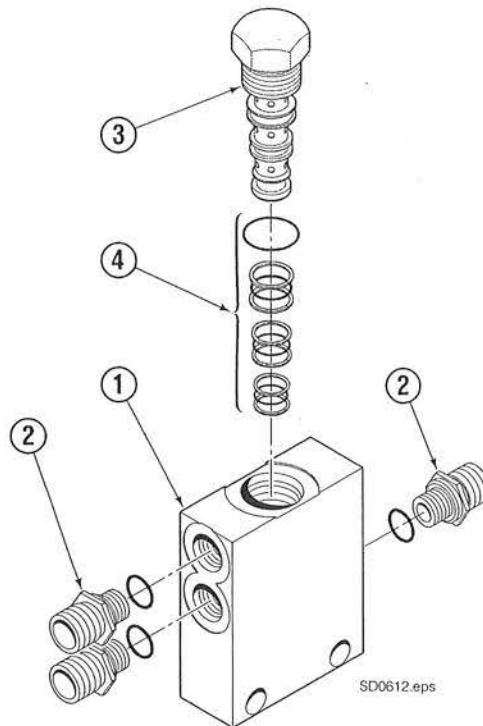
※2000時間点検

稼動2000時間毎には、前記日常点検及び500時間点検に加え、各シールの交換を推奨致します。

1. 再組立てに先立ち全部品を洗浄しゴミ等を取除いて下さい。
2. 油圧油またはグリスをシリンダー内壁や内部部品に塗ると組み立てが容易になります。

重要：整備作業の終わりに当り、いつでも各機能別テストを数回繰返し実施して下さい。
最初に作動テストは無負荷で行い、各機能が正常であるか確認の上実際の業務に復帰して下さい。

定期点検--バルブ C-6072308



警告: 油圧ホースを外す前に、システム内の油圧を抜きます。リフトトラックを止め、操作レバーを両方向に数回動かして下さい。

※日常点検

バルブ各部より油洩れがないか確認して下さい。

※500時間点検

稼動500時間毎には、日常点検に加え③フローディバイダーバルブを外し各シールの点検と①ボディー内部に損傷等がないか確認して下さい。損傷がある場合シールの摩耗が早まったりシーリングが出来ない事があります。(カートリッジバルブの締付トルクは6Kgf.m)

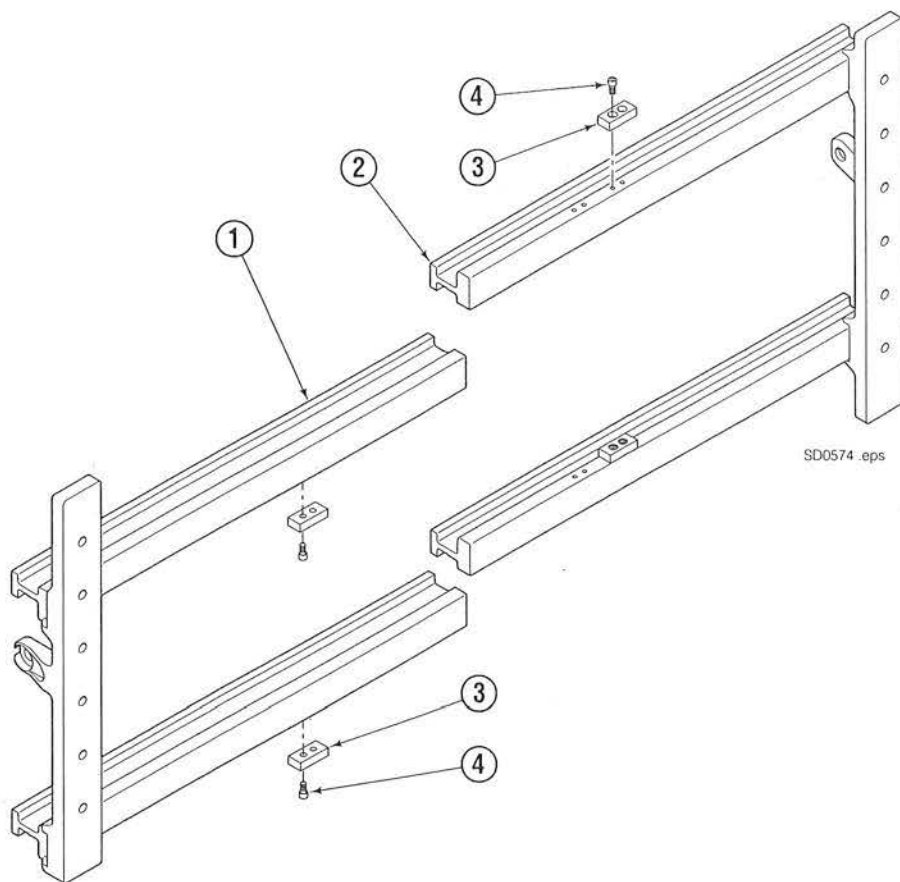
※1000時間点検

稼動1000時間毎には、日常点検及び500時間点検に加え、予め④のシール交換を推奨します。

1. 再組立てに先立ち全部品を洗浄しゴミ等を取除いて下さい。
2. 油圧油またはグリスを①ボディー内壁に塗ると組み立てが容易になります。シールは25%以上伸ばさないように注意して下さい

重要: 整備作業の終わりに当り、いつでも各機能別テストを数回繰返し実施して下さい。最初に作動テストは無負荷で行い、各機能が正常であるか確認の上実際の業務に復帰して下さい。

定期点検—フォーク キャリア グループ



警告：油圧ホースを外す前に、システム内の油圧を抜きます。リフトトラックを止め、操作レバーを両方向に数回動かして下さい。

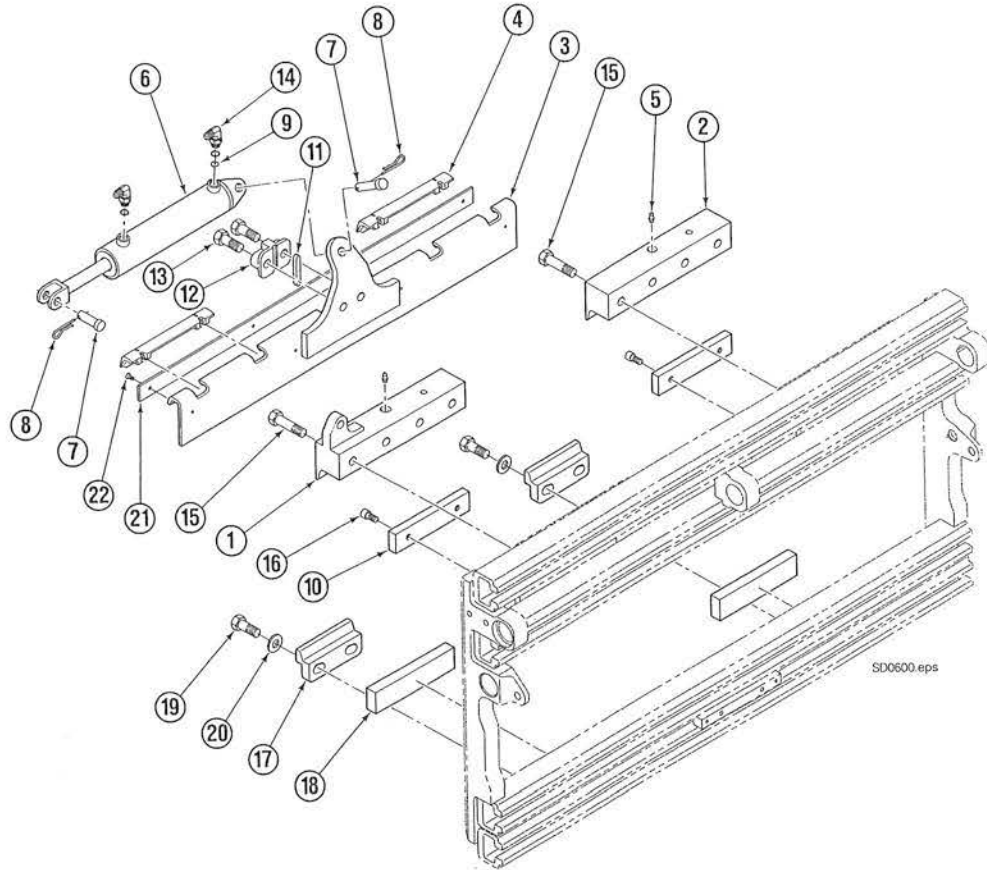
※100時間点検

④キャップスクリューの緩み及び脱落はないか、また③フォークストップの変形はないか確認して下さい。

キャップスクリューは工具を用いて点検して下さい。

重要：整備作業の終わりに当り、いつでも各機能別テストを数回繰返し実施して下さい。
最初に作動テストは無負荷で行い、各機能が正常であるか確認の上実際の業務に復帰して下さい。

定期点検—サイドシフト マウティング グループ



警告：油圧ホースを外す前に、システム内の油圧を抜きます。リフトトラックを止め、操作レバーを両方向に数回動かして下さい。

※100時間点検

- 稼働100時間毎には、日常点検項目に加え次の保守点検を行って下さい。
1. ④アッパーベアリング及び⑩ローベアリングの摩耗確認及びグリス供給。
 2. 各キャップスクリーの緩み及び脱落はないか。
 3. ⑰ローフックとフォークバーとの隙間が大きくなっていないか。(4mm以下)

※1000時間点検

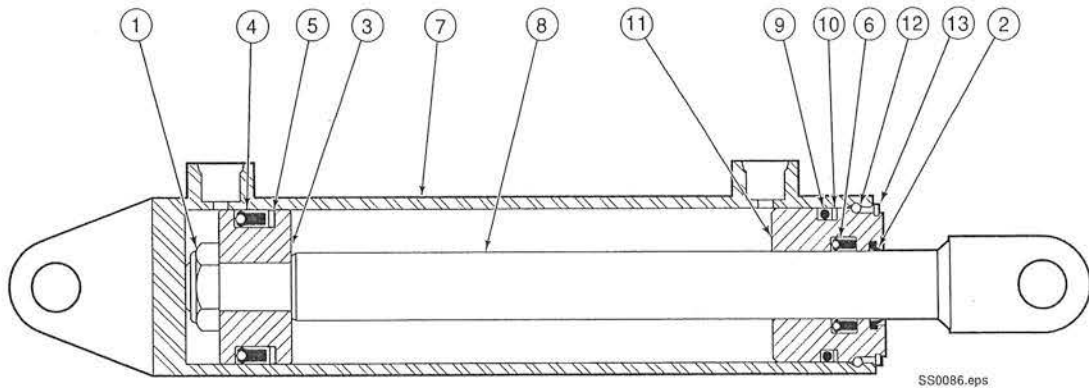
稼働1000時間毎には、前記100時間点検に加えアッパーベアリング及びローベアリングの摩耗または変形があれば交換して下さい。

※2000時間点検

稼働2000時間毎には、前記100時間、1000時間点検に加えアッパーベアリング及びローベアリングの交換を推奨致します。

重要：整備作業の終わりに当り、いつでも各機能別テストを数回繰返し実施して下さい。
最初に作動テストは無負荷で行い、各機能が正常であるか確認の上実際の業務に復帰して下さい。

定期点検—サイドシフト シリンダー



警告: 油圧ホースを外す前に、システム内の油圧を抜きます。リフトトラックを止め、操作レバーを両方向に数回動かして下さい。

※日常点検

シリンダー各部より油洩れがないか確認して下さい。

特に②ロッドワイパーシール部、⑪リテーナー外周部及びエルボ取付部の油洩れの兆候がありましたらすぐに整備して下さい。

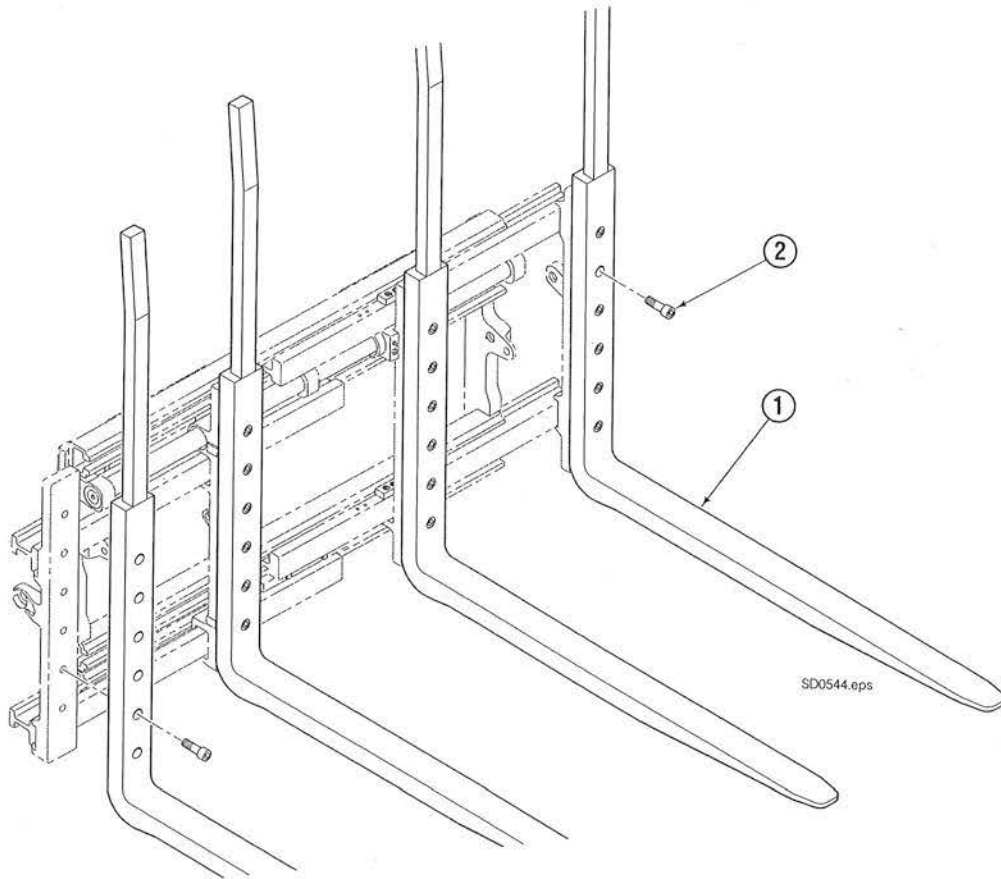
※2000時間点検

稼動2000時間毎には、前記日常点検に加え、各シールの交換を推奨致します。

1. 再組立てに先立ち全部品を洗浄しゴミ等を取除いて下さい。
2. 油圧油またはグリスをシリンダー内壁や内部部品に塗ると組み立てが容易になります。

重要: 整備作業の終わりに当り、いつでも各機能別テストを数回繰返し実施して下さい。
最初に作動テストは無負荷で行い、各機能が正常であるか確認の上実際の業務に復帰して下さい。

定期点検—フォーク グループ



警告: 油圧ホースを外す前に、システム内の油圧を抜きます。リフトトラックを止め、操作レバーを両方向に数回動かして下さい。

※日常点検

②キャップスクリューの緩み及び脱落がないか確認。

※500時間点検

500時間毎には、②キャップスクリューの増締めを行って下さい。またフォークアームは摩耗点検を行い、ヒールの寸法をチェックして下さい。(限界寸法は90%)

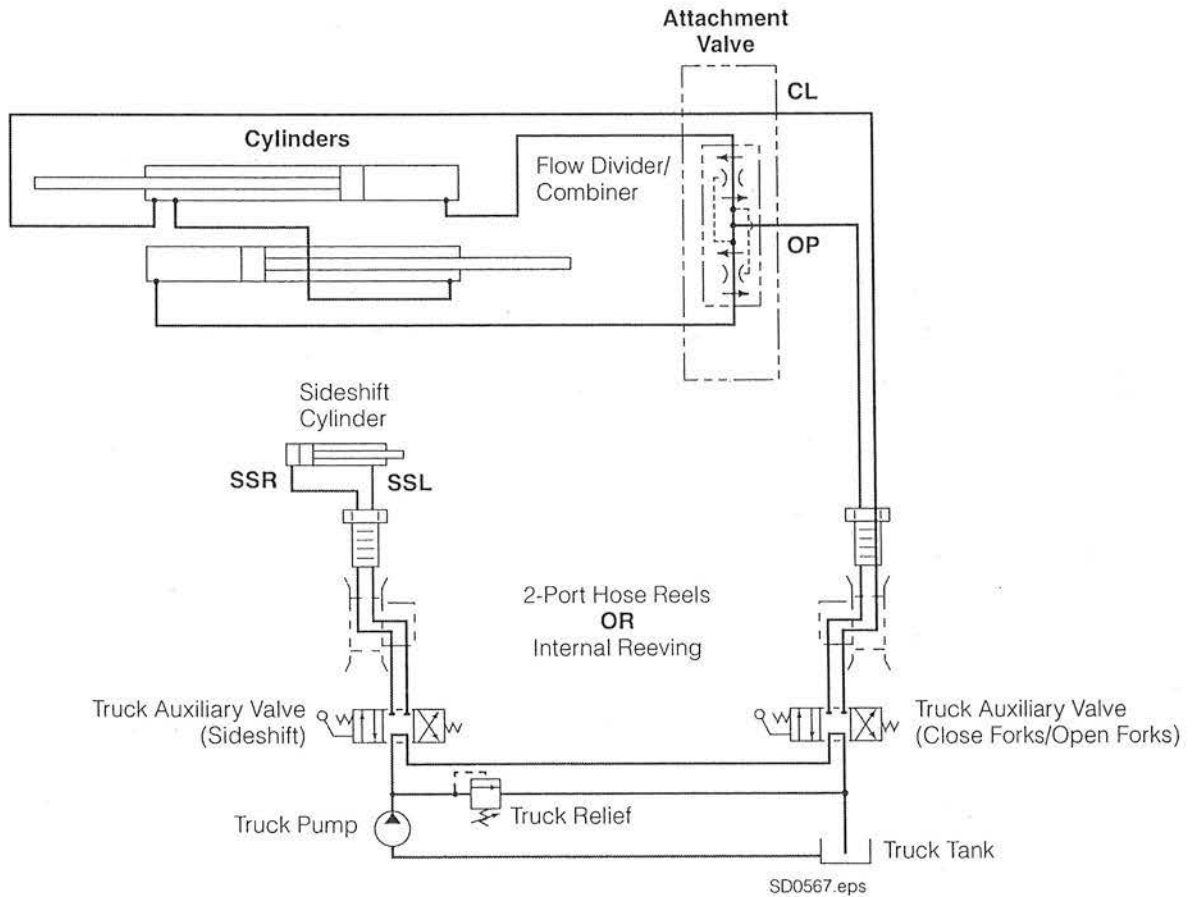
※2000時間点検

稼動2000時間毎には、前記日常点検及び500時間点検に加え、②キャップスクリューを取外し亀裂の有無を確認し異常があれば交換して下さい。

重要: 整備作業の終わりに当り、いつでも各機能別テストを数回繰返し実施して下さい。
最初に作動テストは無負荷で行い、各機能が正常であるか確認の上実際の業務に復帰して下さい。



シングル/ダブル パレット ハンドラー
油圧回路図



6072517-R1



シングル/ダブル・パレット・ハンドラー

トラブルシューティングガイド

故障	原因	対策
開閉しない	1. 作動油不足	1. 作動油追加
	2. 油圧ポンプ不調	1. 修理又は交換
	3. リリーフ設定圧不足	1. 圧力調整
アーム不揃い	1. F. D. V不良	1. F. D. V交換
	2. シリンダ-内部リーク	1. シール交換
	3. スプリングシリンダ-力不足	1. スプリングシリンダ-交換
	4. ベアリング摩耗抵抗差大	1. ベアリング交換
	5. その他不具合現象	1. 弊社へ連絡
サイドシフト 出来ない	1. 空気混入	1. 空気放出
	2. 作動油不足	1. 作動油追加
	3. 油圧ポンプ不調	1. 修理又は交換
	4. リリーフ設定圧不足	1. 圧力調整
	5. 上下ベアリング摩耗	1. ベアリング交換
	6. フォーク-表面凹凸	1. フォーク-表面を平面にする
	7. シリンダ-ピストンシール破損	1. シール交換又シリンダ-交換
	8. 荷重オーバー	1. 運転指導
アタッチメント 脱落	1. 下部フック隙間大	1. 下部フック調整
	2. 仕様外での使用	1. 運転指導
シリンダ-外部 油もれ	1. シール破損	1. シール交換

注記

- ① 修理時には部品図を参照し作業を行って下さい
- ② 交換部品は必ず純正部品を御使用下さい